

おつま

立大間高等学校独立昇格50周年記念式典

議会だより



令和6年11月1日発行 No.123

主な内容 9月定例会

- P2 第3回定例会・臨時会
- P3 歳入・歳出諸決算認定
- P4 一般質問
- P5 全員協議会・特別委員会・議会のうごき
- P6 議会のできごと・編集後記



【発行】青森県大間町議会 【編集】議会広報編集委員会
〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

第3回 9月定例会

令和6年第3回定例会を9月6日に開会し、9月12日に閉会しました。
本議会に提案された議案8件はすべて原案とおり承認、認定、可決、同意しました。

令和6年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ3億7,455万円を追加し、歳入歳出予算の総額を48億5,086万円とした。

歳入の主なるもの

地方特例交付金

○地方特例交付金の交付額の確定に伴い1,713万円を追加。

地方交付税

○普通交付税の交付額の確定に伴い2億4,241万円を追加。

国庫支出金

○国庫補助金で防災・安全交付金1,502万円を減額。

県支出金

○県補助金で青森県核燃料物質等取扱税交付

金1億5,745万円を追加。

町債

○起債対象事業費の精査に伴い過疎対策事業債3,290万円、臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い666万円をそれぞれ減額。

歳出の主なるもの

総務費

○総務管理費の財産管理費で、財政調整基金積立金1億5,000万円、地域福祉基金積立金1億5,000万円をそれぞれ計上。

衛生費

○保健衛生費の予防費で新型コロナウイルスワクチン接種委託料759万円を計上し、清掃費で車輛購入費1,829万円を減額。

農林水産業費

○農業費の繁殖センター費で、飼料原料の高騰に伴い飼料費79万円を追加計上し、商工費のおおま温泉費で源泉ポンプ購入費として機械器具費1,236万円を計上。

土木費

○道路橋梁費の道路橋梁維持費で橋梁補修設計業務委託料500万円を減額。

予備費

○財政調整いたしまして2,229万円を追加。

水道事業会計

○5号取水場整備に係る土地購入に伴う建設改良費の組み換え補正であり、資本的支出の備品購入費で20万円を減額計上し、土地購入費で20万円を計上し、資本的支出の総額

を3億3,527万円とした。

下水道事業会計

○事業内容の精査に伴う補正であり、収益的収入及び支出では営業費用19万円、営業外費用12万円をそれぞれ減額計上し、収益的支出の総額を1億7,158万円とした。資本的収入及び支出では支出の組み換え補正であり、建設改良費で203万円を減額計上し、企業債償還金で203万円を追加計上し、資本的支出の総額を補正前と同額の1億6,605万円とした。

青森県後期高齢者医療 広域連合規約の変更

令和6年12月2日に現行の被保険者証が廃止されるため、青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更。

教育委員会委員の任命

菊池 雄大氏（再任）



第2回臨時会

令和6年10月7日

○議案34号 財産取得について

1. 契約の目的
大間町海峽保養センター源泉用ポンプ等購入
2. 契約の方法
見積徴収・随意契約
3. 契約の金額
12,364,000円
4. 契約相手
青森市大字荒川字藤戸133番地3
山大機電株式会社
代表取締役
菅原博充

歳入・歳出諸決算審査特別委員会報告

令和5年度

歳入・歳出諸決算を



①一般会計

歳入	収入済額	68億2,924万9,483円	収入未済額	6,195万6,088円	予算額との比較	1,662万8,767円
歳出	支出済額	65億6,862万7,187円	不用額	2億1,012万9,063円	予算額との比較	2億7,725万1,063円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	8億1,183万9,688円	収入未済額	1億2,283万4,321円	予算額との比較	1,509万3,312円
歳出	支出済額	7億8,398万356円		不用額		4,295万2,644円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	6,547万1,231円	収入未済額	253万2,350円	予算額との比較	△281万231円
歳出	支出済額	6,065万5,805円		不用額		200万5,195円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億3,280万6,151円	収入未済額	1,465万5,555円	予算額との比較	890万2,849円
歳出	支出済額	5億9,611万8,379円		不用額		4,559万621円

⑤下水道事業特別会計

歳入	収入済額	2億5,012万2,780円	収入未済額	241万7,267円	予算額との比較	291万1,220円
歳出	支出済額	2億5,012万2,780円		不用額		291万1,220円

⑥水道事業会計

	【1】収益的収入及び支出	【2】資本的収入及び支出
収入	決算額 1億6,477万4,757円 予算額に比べ決算額の増減 △1,048万2,243円	決算額 8,038万7,129円 予算額に比べ決算額の増減 △50万5,871円
支出	決算額 1億8,897万6,425円 不用額 △1,852万6,425円	決算額 1億4,946万9,007円 不用額 490万3,993円

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額6,908万1,878円は当年度分消費税資本的収支調整額446万5,216円、当年度分損益勘定留保資金6,461万6,662円で補填した。

⑦大間町健全化判断比率【()内は、当町の早期健全化基準化比率である】

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
△10.3% (15.0%)	△17.6% (20.0%)	12.8% (25.0%)	59.9% (350.0%)

⑧大間町資金不足比率【経営健全化基準比率は20.0%である】

大間町水道事業会計	0.0%
大間町下水道事業特別会計	0.0%

監査委員から

審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれ関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

留意改善を要する事項

①歳入について
一般会計及び特別会計では不能欠損の額が上昇しており、理由としては相続放棄または時効によるものが大半との説明を受けているものの、時効中断の作業も考える必要がある。
町税及び各特別会計の収納対策としては、青森県市町村税滞納整理機構へ徴収依頼し収納率向上を図っているが、町県民税はじめ各種税においては未収額が多額となっている。また、全国的に注目の高い、ふるさと応援寄付金においては対前年比で大幅な減額となっていることから、各関係機関に対して早急な対策を講じていただきたい。
なお、公金の取り扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し事務にあたっていただきたい。

②歳出について

全体の決算収支は黒字となっており、財政は前年度に引き続き弾力性に欠け厳しい状況下であり、経費の節減を図りながら事業運営をなされた努力は十分理解できるものであるが、より一層適切な運営に努めていただきたい。
このことから、予算の執行に当たっては、職員一人一人が費用対効果やコスト意識を更に高め、厳正かつ的確な財務の執行に努めるとともに、透明性を確保し、町民に対して十分な説明責任を果たすよう留意されたい。



傳法 正広 議員
質問時間 40分

仮称大間町学校給食センターについて

昨年示された、基本計画に掲載の整備計画、施設計画、事業計画などに変更は生じていないものか？

町長答弁

変更が生じているのは、過日開催の議会議員全員協議会において、事業スケジュールを1年先送りの、供用開始が令和8年度から令和9年度への変更です。また、去る8月7日開催の北通り3ヶ町村の学校給食に係る意見交換会で参画意向の確認では、佐井村が弁当昼食での対応で、風間浦村との2町村で学校給食実施の見込となりません。基本計画における食数や配送ルート等の見直しはされます。今後、全協等で説明し実施設計へ反映していきたい。

再質問

基本計画の修正または見直しの場合、再度の説明やその理解が必要。どう

のような形で理解を得るお考えなのか？

町長答弁

佐井村がなかったことで、食数が減ることが想定されます。配送では、ルートが変更になりました。3ヶ町村で協議した結果、計画が先送りできないことから、2町村での修正計画を考えております。

再質問

再度の説明やその理解が必要で、どのような形で説明、理解を得るのかという点です。修正にあたっては、口頭の説明なのか？基本計画の修正がある場合は、修正版とか改訂版、の発行などを行うものですか？その辺の確認をしたいと思います。

町長答弁

正に、改訂版を今出す考えですのでご理解をお願いします。

再質問

供用開始が9年度です。来年度、実施設計を進められますが4カ月程度の期間にその改訂版を発行し理解を求めるとな

ると、かなり厳しいスケジュールです。その辺の対応は如何なものか？

町長答弁

確かに、期間的には厳しいですが、それなりに運用開始がちょっとまた何カ月か延びるということも有り得ると思いますので、とにかく令和9年度にはやりたい。

再質問

町長の思いは、分かりません。重々理解して進めていただきたい。

町長答弁

次に、給食の提供に関しては、これまでの議会定例会で各議員が取り上げており、それだけに、当該事業は重要と認識します。この間、議員各位から様々な疑問や心配の意見が寄せられているにも関わらず、現在まで説明不足です。今後の説明では、疑問や心配の解消は当然避けられないものです。しっかりと説明されることを力強く言いたいだけではないか？

町長答弁

これらの質問でかなり細かいことがありまして、それらを明確にして全協で説明したいと思います。

再質問

令和3年3月の町長所信表明で小中学校の完全給食実施を明言され、給食センター建設を給食提供の方法としている。昨年、第3回の一般質問で仮称むつ市防災食育センターへの参画のお誘いが当時のむつ市長からあつ

たものの、お断りされたことを初めて知りまして。佐井村が今参画しないが、大間町と風間浦村だけで北通りでやることとされておりました。それ以外にお断りされた経緯と具体的な理由をお伺いしたい？

町長答弁

当時の宮下市長時代に関根に給食センター作るから、大間町もどうですかと電話でお話がありました。その頃は、私はもう3ヶ町村で心に決めましたので、お断りしました。その後、むつ市長が代り、去年か一昨年、給食センターが建てば大間が入れるのか調べていたら、これから計画立てるから変更してもいい話をしたんですけど、なんかその当時は、佐井もちょっと怪しいなというのがあったんで、聞いたら入れるみたいな話はされました。しかし、防災面を考えると、やっぱり給食センターは作らなきゃいけないの思っていますよ。という話はしました。

再質問

当時、電話での回答で即断、即決されたと思えます。お断りになる前に、本来、大間町総合教育会議や教育委員会、更には庁議などで協議され決断すべきことと思えます。町全体で協議し、そ

の決断をしなかったことに、すごく違和感を覚えます。仮称むつ市防災食育センターが来年2月17日までが工期です。4月1日からの運用であれば、仮に、むつ市に参画すれば、早期に児童生徒に給食の提供が可能と思われれば、給食の提供を考えると、そのような選択肢も有ります。一般的な考え方として、学校給食センターを運営する計画と仮称むつ市防災食育センターの参画計画とを照らし合わせることで、給食の完全実施や財政健全化を掲げ町政を担う町長として、効率的、効果的要素を踏まえた上で、費用対効果を見極め事業展開することが適切と思えますが、どのようなお考えか？

町長答弁

一般財源をなるべく使わないようにする。10年までは大丈夫かなという考えです。むつ市との電話協議では、財源とかは全然聞いてない状況でした。もしかしたら、工事の前に私の負担もあるのかなとあったかも分かりませんが、それも全然聞いてないで、トップ同士の話で断ったということとです。とにかく、財源については任せてもらえれば助かります。どうぞよろしくお願ひしたい。

再質問

むつ市の食育センターの参画は、町長のお考え

は経費とか何も考えないで、大間の給食センターをやっても大丈夫だから、食育センターへの参画はもう考える余地はないと理解してよろしいでしょうか？

町長答弁

もうそういう考えはございません。

再質問

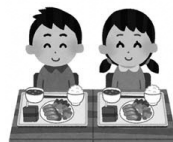
私とすれば、のちのち禍根が残らないかが非常に心配されるところです。慎重な判断をお願いしたいところですが、そういう中で先程の大間町の給食センター建設にあたっての課題・問題点はしっかりと整理し、誰もが理解を得られるよう対応いただきたい。

町長答弁

まずは、防災の面で使えるというのが、本当に安全・安心につながるものと思えます。また、給食が子どもたちの笑顔がどんどん増えるということを期待申し上げて、頑張って建設したいと思えます。

再

町長のお考えがしっかりと汲み取れましたので、今後、住民また議会の疑問などを解消し、理解を得られる対応を頂きたい。



全員協議会

〔令和6年8月22日〕

案件

一、リサイクル燃料備蓄センター隣接町村民の安全確保等に関する協定書(案)について

・むつ市に建設された「リサイクル燃料備蓄センター」の開設に伴う町側から説明を受け、これを了承した。
その内容は、むつ市に隣接する上北郡横浜町及び下北郡4町村の住民の安全確保及び環境保全を図るため万全の措置を講ずるものとするための協定書(案)であり、第一条(住民の安全確保及び環境保全)から第十八条で構成されており、審議の結果、了解されたものである。

〔令和6年8月28日〕

案件

一、大間町コミュニティバス(買い物支援)の利用状況について

・実証運行期間は令和6年3月～9月の7ヶ月間を考えている。
運行日は火・水・木曜

日の週1回実施しており、路線は、下手線、奥戸・材木線、割石・ときわ町線の三路線となっている。3月から7月までの5ヶ月間の利用者数は、延べ685人となっており、月平均130～140人の利用者となっている。また、利用目的は、買い物及び役場等への用事を足すことが最も多い。

二、大間消防署庁舎建設工事の事業報告について

・消防署庁舎建設については、令和2年度に基本設計が始まり、令和3年度には実施設計、令和4年度～6年度には工事期間となっており、令和6年7月から新庁舎へ移転し、業務を行っている。工事費予算額(設計料等含)14億8,400万円に対し、総事業費は12億

7,413万7,115円となり、△2億986万2,885円の節減となった。

特別委員会

〔令和6年9月6日〕

〔大間原子力発電所対策特別委員会〕

案件

一、新規制基準適合性審査の対応状況について
先に、本工事再開の目的を2年後に延期されたが、今回もまた、本工事再開の目的が立たない状況にある。J-POWER(株)には、何事も、予定を立てたら、それを遵守してほしいと希望するものである。

二、建設・運転差止等訴訟の審理状況について

・住民の訴訟審理状況は、7月9日に第12回口頭弁論が開催され、第13回、第14回口頭弁論は12月10日及び令和7年5月29日の予定となっている。
函館市の訴訟審理状況は、9月2日に第32回口頭弁論が開催され、第33回、第34回口頭弁論は令和7年2月26日及び、9月2日の予定となっている。

議会のうごき

令和6年7月～10月

7月

29日～31日 下北郡町村議会議長会県外行政視察研修(和歌山県・議長及び事務局)
29日～8月1日 決算審査(議会選出監査委員)

8月

1日～3日 町村議会議務局職員研修会(東京都・事務局長)
2日 議会議員全員協議会
14日 大間町ブルーマリンフェスティバル
15日 令和6年度大間町20歳のつどい
20日 県議長会新人議員研修会(青森市・傳法(正)議員・傳法(厚)議員・山崎議員・事務局)
26日～28日 第14回全国原子力発電所立地議会サミットAブロック事務局長会議(東京都・事務局長)
28日 議会議員全員協議会
30日 第14回日本ジオパーク全国大会下北大会(むつ市) 例月出納検査(議会選出監査委員)

9月

2日～3日 令和6年度青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会(青森市・議長)
5日 議会運営委員会
6日 大間原子力発電所対策特別委員会 第3回大間町議会定例会開会
9日 総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会
10日 休会
11日 決算審査特別委員会
12日 一般質問・議案審議 第3回大間町議会定例会閉会 議会広報編集委員会

21日 大間中学校体育祭
24日～26日 全国議会議長会町村議会広報研修会(東京都・傳法(厚)副委員長・傳法(正)委員・佐々木委員)
25日 下北総合開発期成同盟会重点要望活動(青森市・議長及び事務局長)
27日 秋の交通安全パレード 例月出納検査(議会選出監査委員)

10月

4日～5日 大間原子力発電所対策特別委員会研修(函館市・議長及び正副委員長並びに事務局長)
5日 本州最北端マラソン大会
7日 議会運営委員会 第2回大間町議会臨時会
10日 議会広報編集委員会 郡事務局長会議(佐井村・事務局長)
11日 大間高校体育祭
12日 大間小学校学習発表会
14日 奥戸小学校学芸会
15日～17日 第14回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会(東京都・議長及び事務局長)
19日 大間幼稚園発表会 大間高等学校独立昇格50周年記念式典
21日～23日 監査委員全国研修会(東京都・議会選出監査委員)
22日～23日 正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会(青森市・正副議長及び各常任委員長並びに議会運営委員長・事務局長)
23日～26日 全国過疎問題シンポジウム2024inやまなし(山梨県・議長)
24日 議会広報編集委員会

大間町議会の出来事

研修

全国町村議会広報研修会

令和6年9月24～26日（東京都二ツシヨール）

全国町村議会議長会主催による、町村議会広報担当者研修会に議会広報編集委員会（傳法厚史副委員長外）が出席しました。講師として①（一社）日本経営協会講師（元・小美玉市行政職員 中本正樹氏）による「読まれる議会広報紙の作り方」②グラフィックデザイナー（公社）日本広報協会広報アドバイザー 平本久美子氏による「パッと伝わる議会広報紙に！



会場の様子（参加者議員）

やっつてはいけないデザイン講座」③埼玉県寄居町議会議会広聴特別委員会委員長 鈴木木詠子氏による「読まれない議会だよりに出す意味なし」聴く・動く寄居町議会の挑戦」と題した講演を伺いました。

ポイントとして、①読まれる広報紙は、「読む人の心の変化を設計している」「読む人側の視点で作っている」②「ターゲットを決める」「主役を大きく作る」「巻頭特集できっかけ作りを」「ジャンプ率・フォント・余白と整列」③編集方針から「基本姿勢」「町民参加」「政策サイクル」「優先順位」「言葉で伝える」「写真で伝える」で、各視点から多様な広報制作の手法を学びました。

広報編集委員会では、情報が伝わりやすい広報紙の作成に引き続き取り組んで参ります。

研修

青森県町村議会議長会 新人議員研修会

令和6年8月20日（青森市）

青森県労働福祉会館において新人議員研修を受講して参りました。

参加者は、傳法（正）議員、傳法（厚）議員、山崎議員、事務局 講師 全国町村議会議長会 議事調査部参与

赤羽 正法 氏

演題 『議会・議員の基礎知識』



会場の様子（参加者議員）

編集後記

夏の行事、イベントも過ぎて季節は秋になりましたが、年々夏日が延びて7月、8月では熱中症アラートが続く日が多く、ここ大間町も例外ではなくなりつつあると思います。

全国各地では地震や台風などの自然災害が発生すれば、年々深刻化を増すほど世の中が変わりつつあり、最近ですと米不足や物価高騰と様々な暗いニュースばかり目にします。そんな現在ですが、それに負けない明るく過ごせる町づくりを目指して頑張りたいと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、健康に気をつけて元気に過ごせますよう祈念いたします。

記【傳法（厚）】

議会広報編集委員

委員長

堀 祐介

副委員長

傳 法 厚 史

委員

傳 法 正 史
吉 田 安 男
山 崎 一 利
佐 々 木 信 彦